

2025年度 第6回 理事会 議事録 2025.11.13

日時：2025年11月13日（木）19：00～20：58

開催方式：オンライン開催

場所：各自自宅または職場

出席理事：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、奥原孝幸（副会長）、遠藤陵晃（副会長）望月強併（事務局長）、玖島弘規、野本義則、澤口勇、青木啓一郎、神田崇央、神保洋平、佐藤隼、佐藤範明、村仲隼一郎、石川恵美子

欠席理事：佐々木秀一、山勢健太郎、佐伯まどか

出席監事：野々垣睦美

欠席監事：錠内広之

I. 会長より挨拶

新しい組織改編の中で次年度の予算案に繋げていければと思います。

本日もよろしくお願い致します。

II. トピックス

1. 選挙管理委員会から報告について（廣瀬選挙管理委員長）

代議員選挙のスケジュールについて共有。11月29日代議員選挙告示、12月1日立候補届の受付開始、12月28日立候補届の受付終了予定。事務局や広報部など様々な部署に協力をお願いしたい。

2. よんばち報告について（神保会長）

渉外報告を用いて報告。

神奈川県も連盟を立ち上げて欲しいとの依頼があった。詳細は今後、連盟の方々とも検討していく。

「協会員＝士会員」は3士会の同意が得られず会費の一括徴収などのシステムは共有できない状況。各士会で会費徴収や会員管理が必要である。OT協会の5カ年戦略、重点課題項目、OT協会設立60周年企画について共有。士会・協会倫理連携担当者の設置について説明があった。

→連盟について神田理事からの報告

一般社団法人が連盟を設立することはガバナンスの問題が生じる可能性が高い。一般社団法人と連盟の活動は別組織として活動することが望ましいと考える。また組織を設立するにあたり住所登録が必要であり、活動資金の問題も生じる。

→連盟について情報収集を行なっていく。

3. 神奈川県立中井やまゆり園について（神保会長）

来年4月に独立行政法人化する予定。OTとして協力していけることがあれば積極的に協力していく。

今回は福祉職として職員募集を行なっているが県士会のホームページでも広報を行なっている。

県民ニーズに関して、MTDLPの理念、考え方を県の活動に活かせるように改めて県庁訪問を行なっていく。

4. 会員WG報告について（田中副会長）

会員種別を問わず、紙面での申し込みとなっている。申し込みをしやすくするため Google form での申し込みができるよう進めている。また会員になる際は理事会での承認が必要であるが、申し込みから承認まで時間を要するため「仮会員」として活動できるよう整備していきたい。

①Google form での入会申し込みについて（神田理事）

現在の定款、会員規程において Google form での申し込みは可能。本理事会において承認が得られれば運用を開始する。

→賛成多数で承認。

②仮会員について（神田理事）

入会申し込みから理事会での承認までの間を「仮会員」とし、本会員と同等の活動・特典が受けられるようにする。本理事会にて承認が得られれば運用を開始したい。

→賛成多数で承認。

Ⅲ. 審議事項

1. Googleworkspace の使用について（事務局）

→賛成多数で承認。

2. 会員管理システムの契約について（事務局）

システム内容や費用を考慮し、シクミネットで申し込みを行いたい。

→賛成多数で承認。

3. 後援依頼（事務局）

・小田原@フェス 2026

→賛成多数で承認。

・第 42 回小田原地区糖尿病週間行事

→賛成多数で承認。

4. 年賀状送付について（事務局）

昨今、他団体において年賀状送付を取りやめる団体が増えてきている。当会としても継続するか取りやめるか検討したい。

（質疑応答）

澤口理事：送付している団体との関係性を鑑みて検討してはどうか。

青木理事：事務局員の負担や費用を考慮して考えてみてはどうか。

→送付を継続、廃止において意見が分かれたため継続検討。対応については三役へ一任となった。

5. 査読委員承認（学術部）

→賛成多数で承認。

6. 部員承認（事務局）

→賛成多数で承認。

今後、部員申請は各部署から事務局へ会員確認を行なって頂きたい。

Ⅳ. 報告事項（各部署・理事・三役）

1. 経費への個人のクレジットカード使用について（財務部）

キャッシュレス化が進んできており、クレジットカードでの支払いが求められる場面がある。

また利便性向上も目的に変更していきたい。今後、会計マニュアルを変更し理事会にて共有予定。

2. 第 20 回神奈川県作業療法学会 県士会ブース出展について（福利部）

当日は 35 名の来場があった。アンケートを実施し、倫理に関する研修会開催の提案や会員交流に関する活動提案、仕事と育児の両立が大変などの語り、職場に同年齢に近い OT が所属しておらず、自身も他県からの異動のため、他の施設や病院の OT との交流の場を持ちたいなどの意見が聞かれた。来年度以降も継続し、学会内に常設していけるか検討したい。

3. 第 20 回神奈川県作業療法学会 終了報告について（学会支援課）

アンケート結果をスライドにて共有。

市民公開講座、学会ともに満足度が高い結果であった。新しい取り組みを行なった学会であり、今後の学会運営の参考にしていきたい。

4. 栃木県士会広報部との情報交換会について（広報部）

オンライン施設見学会について ZOOM で情報交換会を実施。神奈川からは金山課長、山勢理事、栃木県士会からは 5 名の参加があった。栃木県での啓発方法についても聴取したところ、「作業療法士を知ってもらうため協会冊子を図書館に置かせてもらっており、反応がよい」、「養成校と協力しながら啓発活動を行っている」ことなど、興味深い情報を得た。今後も継続して情報交換していくこととした。

5. かながわ介護フェアへのブース出展について（広報部）

2025 年 11 月 1 日横浜新都市ホールで開催。介護現場の職員から質問を多く受けた。

6. 安否確認システムの運用訓練の実施報告について（制度対策部）

理事への点呼ツールは LINE を用いた。そのため煩雑さは認められないが、例年に比べ理事・役員からの返答に時間を要した。また返答が得られないといった事案も認められた。未回答者への対応については今後検討が必要。また会員向けの安否確認については広報が課題である。次年度に向けて広報媒体も含め検討していく。

V. 次年度事業計画・予算について

1. 事業計画について（田中副会長）

第 1 回目の事業計画・予算案について各自確認し、質問や意見を提出して頂きたい。

自部署については次年度に向けたコメントと重要度評価、関連部門については事業の重要度についても互いに評価を行う。提出締め切りは 11 月 28 日（金）三役会までとする。

2. 予算案について（財務部）

第 1 回目の事業計画・予算案の提出を受けて、予算案を作成している。現段階では 200 万円を超える予算案となっている。今後、必要に応じて講師謝金の見直しや謝金規程の変更を検討していく。まず各部署において各事業の予算案の見直しを行い最終的な予算案を作成していく。

臨床実習指導者講習会や MTDLP 研修会の講師謝金について明文化されていないため、今後謝金規程に明記できるように進めていく。

【その他報告部署・理事】

1. 青木理事

次回 12 月度理事会において、中西氏(第 20 回県学会長)、小砂氏(第 7 回臨床大会長)、木下氏(第 21 回県学会長)に参加して頂き、挨拶及び学会・大会報告をして頂く予定。

2. 中間監査について（野々垣監事）

財務部理事が不在のため、紙面での報告は次回理事会にて実施する。会計処理については概ね適正に対応されているが、提出書類の不備や半期ごとの会計処理が完了していない事案が見受けられた。会計担当者の変更もあり、会計マニュアルが周知されていない可能性もあるが、今一度マニュアルを見直し、下半期で適切に対応して頂きたい。

VI. 監事より

野々垣監事：

組織改編により部署間の動きがわかりにくい部分もありますが、お互い連携して取り組んでいきましょう。新しい理事の方々も意見を発信して頂き、県士会活動を前進していけるように頑張りましょう。

以上
文責：玖島弘規

議事録署名人	議長：	神保	武則	印
	理事：	田中	ゆかり	印
	理事：	青木	啓一郎	印
	理事：	佐藤	範明	印
	監事：	野々垣	睦美	印